



学校アウトリーチ ～アーティストが教室にやってきた!～



今年度のアウトリーチは5月11日(水)～20日(金)に実施しました。演奏は、日本を代表する吹奏楽団「東京俊成ウインドオーケストラ」のコンサートマスターを務める国内トッププレイヤーの一人“田中靖人”さんと、リズム感と華麗でお洒落なピアノで人気の“白石光隆”さん。お二人の、豊かに教室を満たしていく煌めくような音色に惹きつけられ、子どもたちは、初めて聴く曲にもじっと聴き入っていました。田中さんは演奏の合間に、わかりやすく、サクソフォンの歴史、種類の違いや曲の解説をしてくださいました。一方、白石さんは、ピアノの仕組みを解説するために、ピアノの解体ショーを見せてくれました。子どもたちは、机の上に置かれたピアノの鍵盤部分をたたくと、向こう側にあるハンマーがピコピコ上がる様子を体験し、目を輝かせていました。

子どもたちからのお手紙より(抜粋)

- ぼくは、初めてピアノの中身やサクソフォンを見ました。ピアノは、けんばんをたたくとオノミたいなのが上って、おすのをやめたらもどるから、それがふしぎでした。
- 田中さんと白石さんの音が、「すーっ」と心の中にはいっていきかんじでした。田中さんはサクスがとてもきれいで、指がとてもはやかったです。白石さんは、ピアノが「ポロン」「ポロロン」となって、とてもすごかったです。
- みんなとしゃんをとったとき、うれしかったです。「アルルの女」は音楽でみんなといっしょに勉強しました。これからもみんなの前でえんそうをがんばってください。手をふってくれてありがとうございます。
- 今回の演奏を聞いて、中学校に行ったら、すいそう楽部でサクソフォンをやりたいと思いました。また細かい音がすべてきれいにそろっていて、すごいと思いました。



- ピアノの中が、すごい数のハンマーがあることが分かりました。
- 田中さんがもったサクスは、いちばん上のぼたんがいちばんちっちゃくて、下にいけば下にいくほど、ぼたんが大きくなっていたのが分かりました。白石さんがつかったピアノにさわれたのがいちばん楽しかったです!!
- 最後に「アンコール」といったら、きてくれると思っていませんでした。だから、来てくれた時、びっくりして、うれしかったです。どの曲もサイコーでしたが、さいごの曲は、一番楽しかったです。たくさんの曲をありがとうございました。
- アンコールでみんなでおどって楽しかったです。
- 楽しかった演奏はさいごの「ニューヨークの4まいの絵」です。さいしょのほうで朝からにぎやかで明るい夜みたいな演奏がすごくて、月日が流れていくなかに感じました。

- 白石光隆さんが田中靖人さんを見てタイミングを合わせているのがすごかったです。
- ピアノがどうやって音が出るかがとてもよくわかりました。バロック・ホーダウンではさいごの方がとてもはやくなっていたので、どうやって演奏しているのかを白石光隆さんに教えてほしくなりました。
- サックスをつかっているときに、ゆびのところをみたら、めちゃくちゃはやくてすごかった。白石光隆さんのピアノのかいいたいがおわたったときにいろいろなぶひんがピアノの中にはいっててすごいなおもいました。田中靖人さんがサクスをふいているとき、はやい曲なのに短時間でいきをしていてすごいなと思いました。
- ピアノをひいているときに白石さんが足を動かしていたのでさいしょはリズムにのって動かしていると思ったけど、よくみるとなにかをふんでいることに気づきました。それが何かはわからなかったけど、気づけてうれしかったです。
- えんそうのひとつひとつの音がちがうからびっくりした。すごくよかったです。あと、どくどく心がうごきました。
- 私は、ピアノを分かっているところが一番おもしろかったです! つぎつぎにハンマーがとび上がっていていきおいがありました。だからハンマーなんだーと思いました。
- 一番さいしょに演奏してくれた「ソナタ変ホ長調」が一番心にのこりました。とくに白石さんのピアノが、ぼくは「あんなのひけっこないよ」と思ながらも、すごいなあと感じていました。そして、田中さんのサクスは、見ためではアルトのほうが好きだけど、音では、ソプラノのほうが好きで、どちらも好きです。
- ピアノのしくみがよくわかったし、あんなにカポカポはずれると思わなかった。思っていたよりも、ものすごいはくりよくで、音が大きかったのに、ぜんぜんうるさいとはおもわなかった。田中さんのサクスが、音楽をもりあげていて、とにかくすごかった!!

